

令和 8 年度第 1 回労働教育協議会会議録

1 開催日時 令和 8 年 7 月 6 日 午後 2 時 00 分から午後 3 時 30 分

2 開催場所 浜松市勤労福祉センター 中会議室 1

3 出席状況

委 員 (10 人)

鶴見 英人	委員	楠崎 智絵	委員	三宅 賢三	委員
大橋 泰介	委員	中村 雄一	委員	鈴木 慧史	委員
伊藤 祥	委員	高橋 昭吾	委員	片岡 裕也	委員
平野 慎一郎	委員				

事 務 局 (6 人)

労働政策課 課 長	鈴木 利昭
課長補佐	内崎 哲
副 主 幹	生熊 律穂
副 主 幹	山下 裕也
一般職員	中村 篤史
一般職員	古木 日向子

欠 席 なし

4 一般傍聴者 0 人

5 議事内容 (1) 令和 7 年度労働・雇用に関する事業について
(2) 令和 8 年度労働・雇用に関する事業について
(3) 就職氷河期世代支援事業の評価について

6 会議録作成者 産業部労働政策課 一般職員 中村 篤史

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 ☒ 有 ・ 無

8 会 議 記 録

- 1 開会（労働政策課長）
- 2 新任委員紹介
- 3 議事

(1) 令和7年度労働・雇用に関する取組みについて

（生熊副主幹）（山下副主幹）

資料に基づき説明。

【質疑応答】

（三宅委員）

紹介のあった、動画作成事業についてお聞きしたい。

実際に動画を見た人が、浜松市へ戻り就職しているかどうかは把握出来ているか。

（鈴木課長）

位置情報を使って無作為に配信しているものであり、視聴後の動向までは、把握出来ていない。ただ、若い女性が転出後に戻りにくい傾向があるので、文系女子をターゲットに動画を作成しているものである。

（大橋委員）

勤労者住宅建設資金等償還利子助成事業について、受付数が減少しているが予算が減った等、要因はあるか？

（鈴木課長）

予算が減ったのではなく、申請数が減少した。

建築資材の高騰や住宅ローンが高くなっていることから、そもそも住宅を建設する方が減っていると考えられる。

（楠崎委員）

女性実態調査についてどんな調査をしたのか。

また、今後どのような活用をしていくか。

（内崎補佐）

内容については市のHPにて調査の報告書を掲載しているためそちらをご確認いただきたい。

結果として、浜松市の女性は、キャリアアップより家庭環境とのバランスを重視する傾向にあった。

再就職についても不安があることがわかったため、再就職を目指す女性に対する事業に引き続き力を入れていきたい。

【質疑応答】

(三宅委員)

IITH の出前講座は、なぜ浜松市立高校ではなく県立の浜松北高校で実施しているのか。

(鈴木課長)

過去に浜松市立高校を含め打診し、浜松北高校にて了承を得たため、浜松北高校での実施となった。

浜松市立高校は校長が変わったため、次年度は再度打診していきたい。

また、特定の高校だけの実施にとどまらず、多くの学校で実施していきたい。

(鈴木委員)

浜松みらいっこ事業について、長いスパンで進めていくことが重要。

参加企業も増えていくと良いと思う。今後、動向を教えてください。

浜松で就労となったときに、子育てを重視される方も多いと思う。

こういった事業が広がっていくことが子育てのしやすさにもつながっていく。

(内崎補佐)

今年度から聖隷福祉事業団が新しく参加した。

夏休みの子どもの体験としてとても人気のため、様々な企業に参加してもらいたい。

(鶴見委員)

インターンシップ生と話していると、「子育て」というワードが強い。

子育てしやすい街ということを学生に伝えられるようになるといいが、何か伝えられることはあるか。

(鈴木課長)

待機児童ゼロは伝えられるところだと思う。

(内崎補佐)

現在、春華堂主催のワーククリエイティブツアーにおける大学の講師を依頼されている。その中で、可処分所得の面で魅力的（東京と比べると、貯蓄もできるし、家も建て

る）という資料を作成しているところ。

金銭的な理由等で東京から浜松に転入してくる 20 代後半から 30 代女性も増えていと感じるため、子育てができる街というところも PR していきたい。

(3) 就職氷河期世代支援事業の評価について

デジタルスキルに対して不安を抱えている方もいるため、個人のスキルに合わせた講座を今年度から実施している。

女性にとっては「安心感」を持つことが重要だと考えているため、今後はそういったところにも力を入れていきたい。

(中村委員)

高齢者就労支援事業について、高齢者の人口はより増えていくが、まだまだ働ける方は多いと思う。そういった方に対して、働ける場所の提供や周知をしていただけだと思う。

(鶴見委員)

PR 動画の配信について、市内学生向けにやっているのか。

(内崎補佐)

市内の大学生はもちろんのこと首都圏の主な駅周辺に位置情報がある方の中で、年齢をしぼって配信した。

(鶴見委員)

最近、首都圏でのイベントに参加する機会があったが、参加した学生は保護者からの案内で参加する学生も多かった。

保護者に対してアプローチする事業があれば教えてほしい。

(鈴木課長)

保護者の影響が強いというのは同様の認識である。

6 月 11 日に企業合同説明会（ジョブエキスポ）を実施した。

保護者も 12 時から 13 時と 15 時以降に入場可能としており、実際に保護者と一緒に来る方や夫婦で来ている方もいた。

大学進学で浜松を離れてしまう前に、地元企業を学生・保護者に知ってもらう機会の提供に力を入れていきたい。

(鶴見委員)

文系女子の動画や PR 動画はどこかで配信されているのか。

(鈴木課長)

JOB はま！に掲載している。

PR 動画については、企業にも動画データを渡しており、自社で参加する企業説明会等で活用いただいている。

(2) 令和 8 年度労働・雇用に関する取組みについて

(内崎補佐)

資料に基づき説明。

(生熊副主幹)

資料に基づき説明。

【質疑応答】

特になし

4 意見交換

(伊藤委員)

「みんなの労働ナビ」について紹介する。

厚生労働省で新しく立ち上げ、ワークルールの説明や事業者が困ったときの相談先等すべての方が使える総合ナビになっている。

また、就職氷河期世代を含む 35 歳以上 59 歳までの就職支援窓口「ミドル・チャレンジコーナー」をアクトタワー庁舎から対象年齢層の利用が多い浅田庁舎に移設した。

(鈴木課長)

高齢者の求人求職の状況はどうか。

(伊藤委員)

ハローワークへの求職登録者は、65 歳以上が全体の約 2 割となっており年々その比率は増加している。

高齢になればなるほど再就職が困難となるが、窓口には 70 代・80 代の方も仕事を探して相談に来られる。

人口構成の高齢化で、以前は学生アルバイトが入っていたところに高齢者の方が入っている現状もある。ハローワークでは高年齢者の応募可能な求人開拓を行っている。

(平野委員)

高齢・障害・求職者雇用支援機構でも高齢者活用として推進プランナーを出されている。高齢者応援企業に案内することで、高齢者が働きやすい職場環境の形成に繋げられるのではと思う。

浜松社労士フェスを 3 月 6 日に実施する。

会場はクリエイト浜松で実施予定。ご興味ある方は、ぜひお越しください。

5 閉会

9 会議録署名人

委員長 鶴見 英人



副委員長 大橋 泰介



